

静岡県 の 地震 活動

第 37 卷 第 7 号

2026 年 8 月 6 日

静岡地方気象台

2026 年 7 月の地震活動概況

静岡県で震度 1 以上を観測した地震は 5 回あり、このうち遠州灘の地震などにより震度 1 を観測しました。

静岡県内の最大震度別地震回数（2026 年 7 月 1 日～31 日）

震度	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	合計
地震回数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5

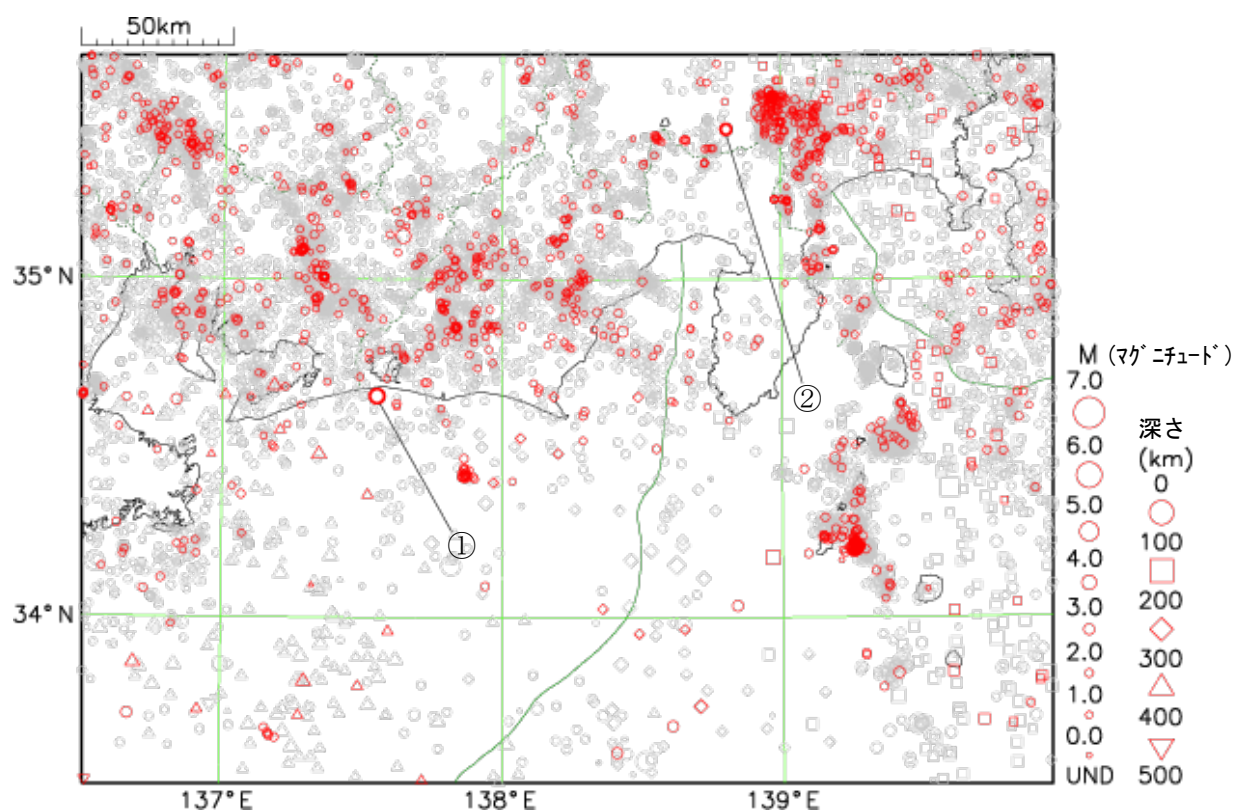


図 1 静岡県とその周辺の震央分布図（2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日、深さ 0～500 km、M すべて）2026 年 7 月の地震を赤色で表示

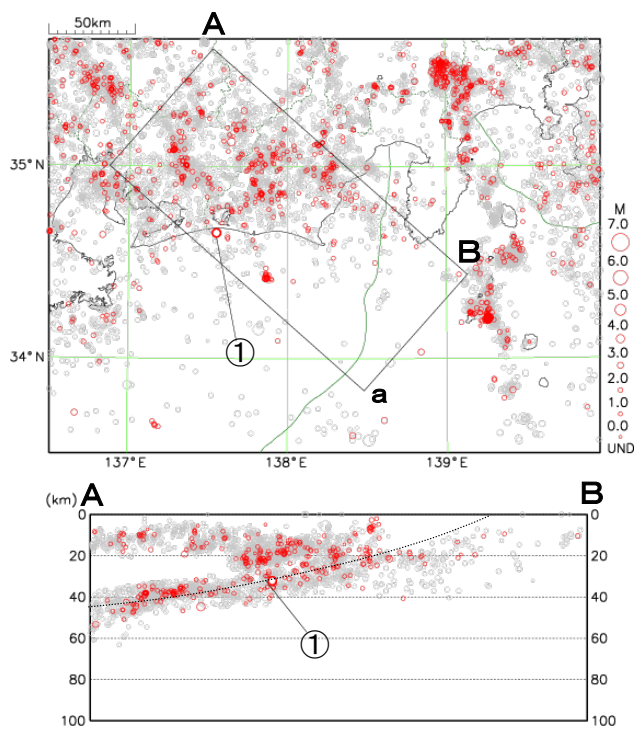


図2 震央分布図（2025年8月1日～2026年7月31日、深さ0～100km、Mすべて）及び断面図（領域a内A－B断面）
2026年7月の地震を赤色で表示
点線は陸側プレートとフィリピン海プレートとの境界のおよその位置

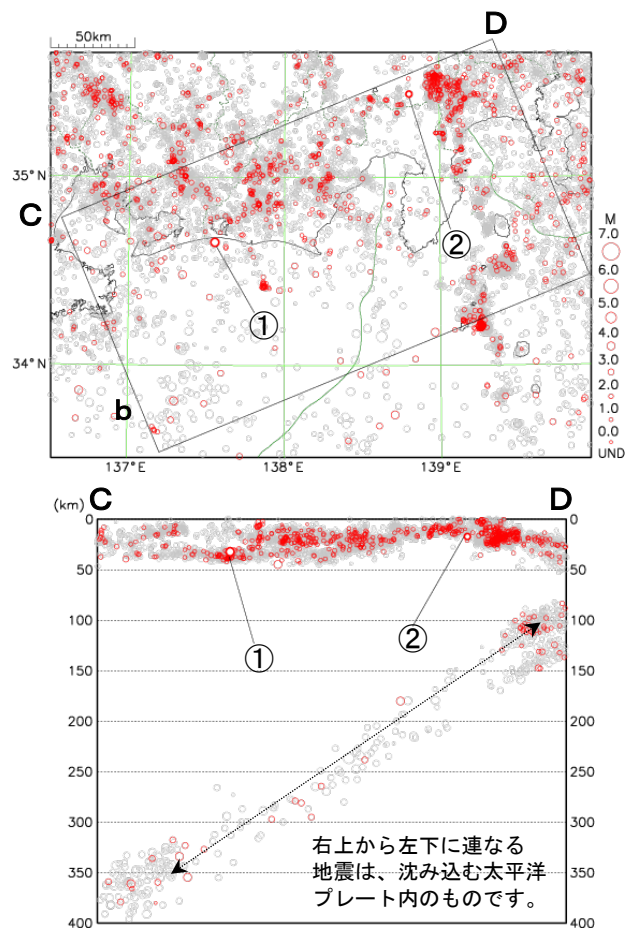


図3 震央分布図（2025年8月1日～2026年7月31日、深さ0～400km、Mすべて）及び断面図（領域b内C－D断面）
2026年7月の地震を赤色で表示

1. 静岡県及びその周辺

① 遠州灘の地震（図1、図2、図3の①、表1のb）

2日20時13分に遠州灘で発生した地震（M3.6、深さ32km）により、東海地方及び長野県で震度2から1を観測しました。県内では、西部で震度1を観測しました（図4）。この地震は、発震機構が北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生したと考えられます（図5）。

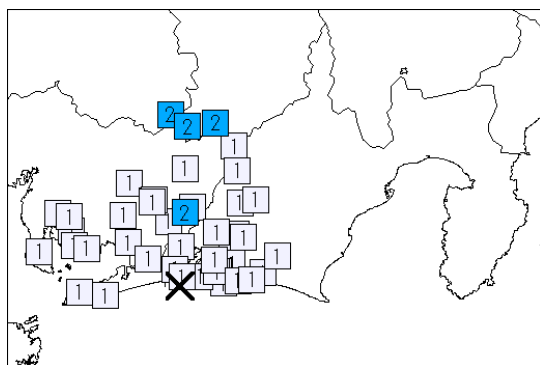


図4 観測点震度分布図
（×は震央を示す）

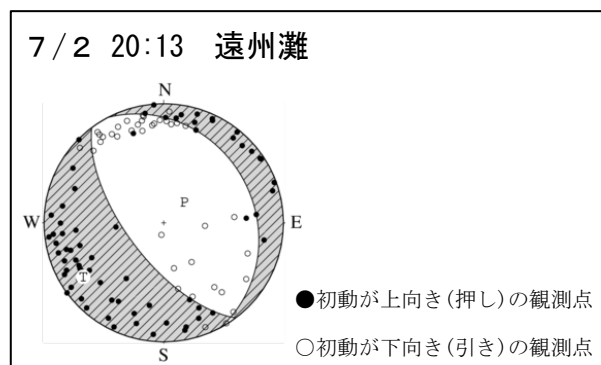


図5 初動発震機構解

② 山梨県東部・富士五湖の地震（図1、図3の②、表1のd）

3日18時32分に山梨県東部・富士五湖で発生した地震（M2.5、深さ17km）により、山梨県及び静岡県で震度1を観測しました。県内では、富士市で震度1を観測しました（図6）。

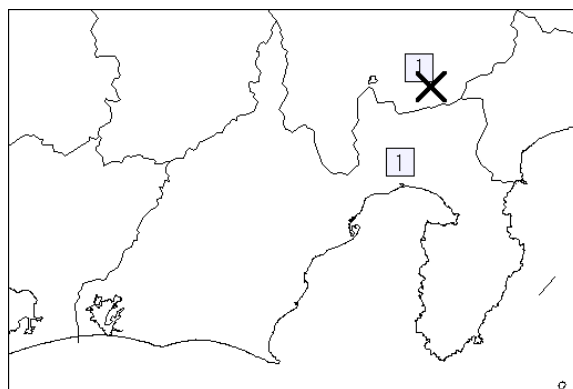


図6 観測点震度分布図
（×は震央を示す）

2. その他の地域（図1の範囲外）

③ 房総半島南方沖の地震（表1のa）

1日00時02分に房総半島南方沖で発生した地震（M4.1、深さ62km）により、東伊豆町で震度1を観測しました（図7）。

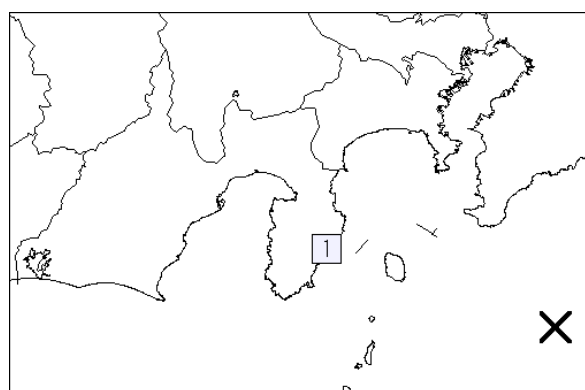


図7 観測点震度分布図
（×は震央を示す）

④ 福島県会津の地震（表1のc）

2日20時48分に福島県会津で発生した地震（M4.7、深さ144km）により、福島県、宮城県、新潟県、山梨県、関東地方及び静岡県で震度2から1を観測しました（図8）。県内では、伊豆市及び伊豆の国市で震度1を観測しました（図9）。

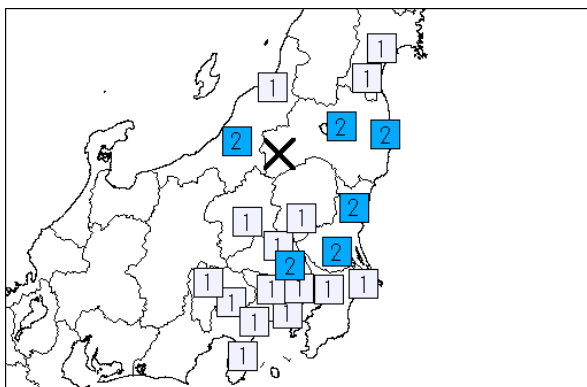


図8 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

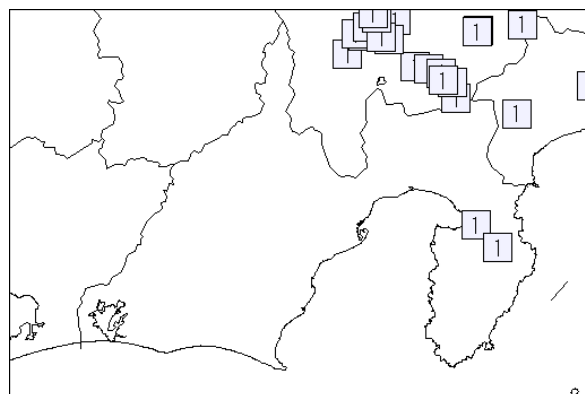


図9 県内及びその周辺の震度分布図

⑤ 熊本県熊本地方の地震（表 1 の e）

28 日 16 時 27 分に熊本県熊本地方で発生した地震（M7.1、深さ 16km）により、熊本県で震度 7 を観測したほか、九州地方、愛媛県、山口県で震度 6 強から 4 を、中部地方以西の本州及び四国地方で震度 3 から 1 を観測しました（図 10）。県内では、袋井市、磐田市及び浜松市で震度 1 を観測しました（図 11）。

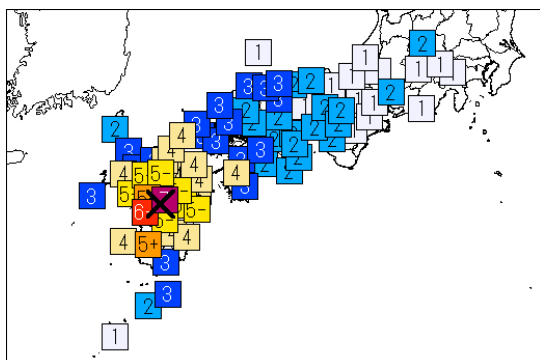


図 10 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

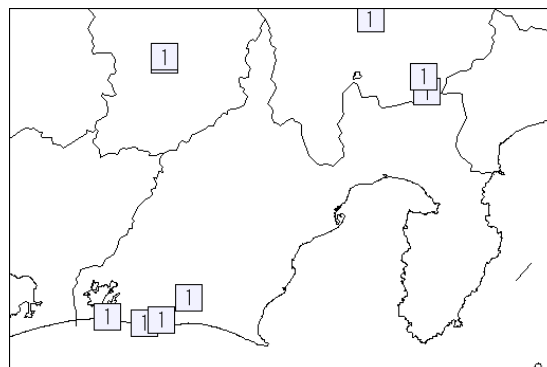


図 11 県内及びその周辺の震度分布図

3. 富士山の地震活動

富士山では、深部低周波地震を 5 回観測しました。また、高周波地震を 7 回観測しました（6 月の深部低周波地震は 3 回、高周波地震は 0 回）。

「深部低周波地震」「高周波地震」は、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」の「火山性地震・火山性微動に関する用語」：<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/shindou.html>」をご覧ください。

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料は、静岡地方気象台ホームページの「静岡県の地震概況」に掲載してあります。

https://www.data.jma.go.jp/shizuoka/shosai/gaikyo_eq/gaikyo_eq.html

問い合わせ先：静岡地方気象台 地震・火山担当 電話 054-286-3521

表 1 [県内震度観測点で震度 1 以上となった地震とその震度]

(記号は以下の各地の震度表中の記号に対応、* 印は自治体、国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、－は運用休止中を示す)

記号	地震発生時刻	震央地名	北緯 東経	深さ	M	最大震度(県外を含む)
a	7月1日 00時 02分	房総半島南方沖	34° 28.6′ 140° 12.3′	62km	4.1	1 : * 東伊豆町奈良本
b	7月2日 20時 13分	遠州灘	34° 39.2′ 137° 33.1′	32km	3.6	2 : 愛知県新城市乗本ほか
c	7月2日 20時 48分	福島県会津	37° 11.7′ 139° 26.7′	144km	4.7	2 : 新潟県南魚沼市六日町ほか
d	7月3日 18時 32分	山梨県東部・富士五湖	35° 26.5′ 138° 48.3′	17km	2.5	1 : 山梨県富士河口湖町船津ほか
e	7月28日 16時 27分	熊本県熊本地方	32° 37.5′ 130° 40.7′	16km	7.1	7 : * 熊本県氷川町島地ほか

地域	震度観測点	各地の震度					
		a	b	c	d	e	
静岡県	下田市加増野						
	* 下田市中						
	* 下田市敷根						
	* 東伊豆町稲取						
	* 東伊豆町奈良本	1					
	* 河津町田中						
	南伊豆町石廊崎						
	* 南伊豆町入間						
	* 南伊豆町下賀茂						
	* 松崎町江奈						
	* 松崎町宮内						
	* 西伊豆町仁科						
	* 西伊豆町宇久須						
	* 西伊豆町一色						
	熱海市網代						
	* 熱海市泉						
	* 熱海市中央町						
	伊東市大原						
	* 伊東市八幡野						
	* 函南町平井						
	* 伊豆の国市長岡			1			
	* 伊豆の国市田京						
	* 伊豆市小立野						
	* 伊豆市土肥						
	* 伊豆市湯ヶ島						
	* 伊豆市八幡						
	伊豆市中伊豆グラウンド			1			
静岡県	* 沼津市高島本町						
	* 沼津市御幸町						
	* 沼津市西間門						
	* 沼津市戸田						
	* 沼津市原						
	三島市東本町						
	* 三島市大社町						
	御殿場市萩原						
	* 御殿場市茱萸沢						
	* 御殿場市竈						
	* 裾野市石脇						
	* 裾野市佐野						
	* 静岡清水町堂庭						
	* 長泉町中土狩						
	* 小山町藤曲						
	* 小山町須走						
	富士宮市弓沢町						
	* 富士宮市猪之頭						
	* 富士宮市野中						
	* 富士宮市長貫						
	* 富士市本市場						
	* 富士市永田町						
	* 富士市岩淵						
	* 富士市吉永						
	* 富士市大淵				1		
	富士市富士総合運動公園						
静岡県中部	静岡駿河区曲金						
	* 静岡駿河区用宗						
	* 静岡葵区追手町県庁						

地域	震度観測点	各地の震度					
		a	b	c	d	e	
静岡県	* 静岡葵区追手町市役所						
	* 静岡葵区駒形通						
	* 静岡葵区梅ヶ島						
	静岡清水区千歳町						
	* 静岡清水区蒲原新栄						
	* 静岡清水区由比北田						
	* 静岡清水区谷津						
	* 島田市金谷代官町						
	島田市川根町家山						
	島田市元島田						
	* 島田市川根町笹間上						
	* 焼津市石津						
	* 焼津市宗高						
	* 藤枝市瀬戸新屋						
	* 藤枝市岡出山						
	* 藤枝市岡部町岡部						
	牧之原市鬼女新田						
静岡県	* 牧之原市静波						
	* 吉田町住吉						
	* 川根本町上長尾						
	* 川根本町東藤川						
	* 磐田市見付						
	* 磐田市国府台						
	* 磐田市福田		1				
	* 磐田市岡		1			1	
	* 磐田市下野部		1				
	袋井市新屋					1	
	* 袋井市浅名		1				
	* 掛川市長谷		1				
	* 掛川市西大淵						
	* 掛川市三俣						
	掛川市篠場						
	御前崎市御前崎						
	* 御前崎市池新田						
静岡県西部	* 静岡菊川市赤土						
	* 静岡菊川市堀之内						
	* 静岡森町森						
	* 浜松天竜区春野町		1				
	* 浜松天竜区二俣町鹿島		1				
	* 浜松天竜区龍山町		1				
	* 浜松天竜区佐久間町		1				
	* 浜松天竜区水窪町						
	浜松中央区高丘東		1				
	* 浜松中央区元城町		1				
	* 浜松中央区三組町		1			－	
	* 浜松浜名区西美蘭		1				
	* 浜松中央区流通元町		1				
	* 浜松中央区舞阪町					1	
	* 浜松中央区雄踏		1				
	* 浜松中央区江之島町		1			1	
	浜松浜名区滝沢町		1				
静岡県西部	* 浜松浜名区細江町						
	浜松浜名区三ヶ日町		1				
	* 湖西市新居町浜名		1				
静岡県西部	* 湖西市吉美		1				

津波から身を守るために

夏本番、本格的な海水浴など海のレジャーシーズンです。海辺にいるときに、改めて意識していただきたいのが「津波から身を守るための行動」です。

津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。

▶ 解除まで気を付けて

津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。

▶ 注意報でも海中は危険

津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

▶ 正しい情報を入手

テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。



いつ津波が発生しても身を守ることができるように、日頃から色々な場面を考えて備えておきましょう。

▶ 危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。

▶ 避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。

▶ 訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。



津波注意

津波が来襲する危険のある地域を示します



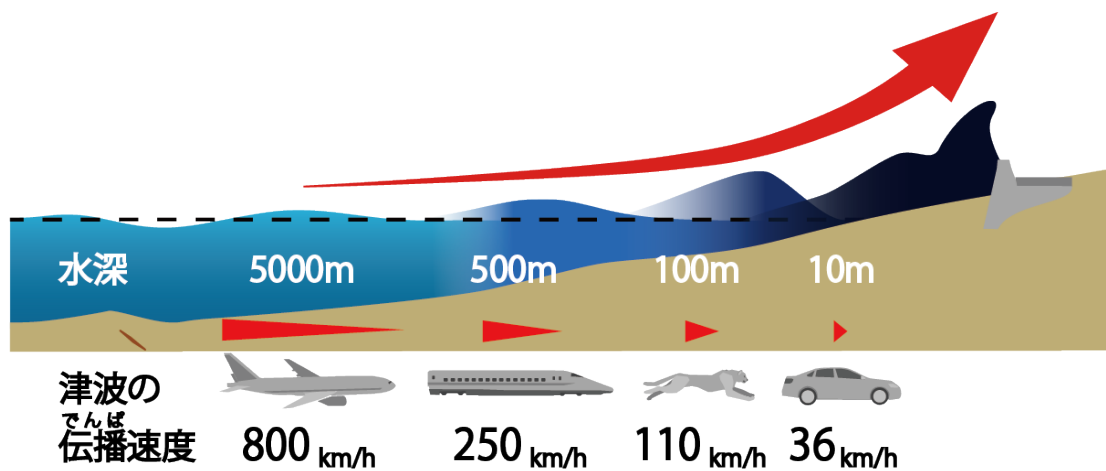
津波避難ビル・津波避難場所

津波に対し安全な避難場所を示します

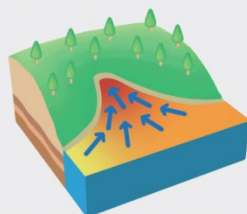


津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

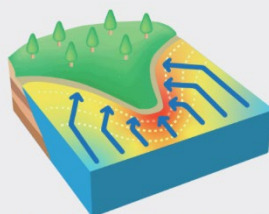
- ▶ 沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、**急激に高くなります**。
- ▶ 津波の伝播速度は非常に速く、**見ながら逃げるのでは間に合いません**。
- ▶ 周辺の地形により反射や屈折を経て繰り返し襲ってきます。**後から来る津波の方が高くなる**こともあります。
- ▶ 津波の力は非常に強く、**高さが 20～30cm 程度の津波**であっても早い流れに巻き込まれてしまうおそれがあります。
- ▶ 津波は「**引き**」から始まるとは限りません。“潮が引いたら逃げればよい” というのは大きな間違いです。
- ▶ 沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなる**こともあります。
- ▶ 潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで**数時間以上**かかることもあります。
- ▶ 広い範囲の沿岸に津波が到達し、津波が**半日や1日以上継続**することもあります。



地形による津波の増幅の例



V字型の湾では湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。



岬の先端では、津波が海岸線に対して平行になろうとしてエネルギーが集中し、波高が高くなります。

詳細は気象庁ホームページや政府広報オンラインをご覧ください。

- ▶ 気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/index.html

- ▶ 政府広報オンライン「津波から身を守るための行動は？」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201410/4.html#fourthSection>

- ▶ 政府広報オンライン「日頃の備えで大事なことは？」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201410/4.html#fifthSection>

8月26日は「火山防災の日」です

令和5年(2023年)、活動火山対策特別措置法(活火山法)の一部が改正され、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、8月26日を「火山防災の日」に制定しました。火山防災の日には、防災訓練等その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めることとされています。

活火山法の改正の背景として、近年、富士山の市街地近くで新たな火口が発見されたこと等による想定される火口の範囲の拡大や、桜島で大規模噴火の可能性が指摘されたことなど、日本全国で火山活動が活発化した際の備えが急務となっています。このような状況に鑑み、噴火災害が発生する前の予防的な観点から、活動火山対策の更なる強化を図り、住民、登山者等の生命及び身体の安全を確保することを目的とした措置を講ずることが求められています。



気象庁ポスター「火山防災の日」



気象庁リーフレット「噴火警報と噴火警戒レベル」

噴火災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山防災情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。情報は、気象庁ホームページやテレビ、ラジオ、携帯電話、防災行政無線などで確認できます。また、火山防災マップで事前に情報を収集し、避難場所や想定される火山現象を確認しておくことも大切です。

8月26日の「火山防災の日」や9月1日の「防災の日」をきっかけに、火山への理解を深め、噴火に備えてください。

火山防災の日特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html>